



神石高原町立神石小学校
令和元年10・11月
第4学年

広島県の土砂災害についてお話を聞きました

10月4日(金)に、広島県土木建築局砂防課の方をお迎えして、土砂災害の仕組や身の守り方についてお話を聞きました。

子供達が一番心に残っていたのが、広島県が全国でぶっちぎり(2位と1200ヶ所の差をつけて)で土砂災害危険箇所が多いことです。お話の中では、昨年度の7月豪雨の話と共にさらに年をさかのぼって平成27年7月(庄原市)、平成26年8月(広島市)、平成11年6月(広島市・呉市)多くの災害が広島県で起こったことも聞きました。



そして、土砂災害の種類についてです。土砂災害には、「土石流」「崖崩れ」「地すべり」の3種類あり(どんなものかは、お子さんにお聞きください)、どれも起こってからでは逃げることは難しいというお話をされました。

お話から、「他人事でないこと」「災害が起こる前に行動すること」が大切だと分かりました。知ったことを自分達のものだけにせず、多くの人に知ってもらおうと考えています。

特別の教科 道徳より③

今日は、「いじりといじめ」という話。

「昨日の番組、笑えたよなあ。」「ああ、芸人さんがみんなに水をかけられてたやつだろ。」とゆうきは、クラスで話をしている。しかし、昨日母親から「みんなでよってたかって人を笑って、どこがおもしろいのかしらね。いじめじゃないの。」と言われたことを思い出してもやもやした気持ちでいた。その日の3時間目にまさるくんが先生の言われたことと全然違うことを言って、みんながうけてどっと笑った。その時みかさんが、「今の、笑っていいのかな。」と思いつつ言う。げんき君は、「まさるくんは気にしていない。」「いじめというよりいじりだよ。仲がいいから、じょうだんだって、おたがいわかっているんだよ。」とみかさんに言った。ゆうきは、「——でも、いじりといじめとは、どこがちがうのかな。」とつぶやく。

この話を読み子供達は、「いじり」と「いじめ」はどちらも相手を不快な想いにしてしまうから同じだと思う。「されている方も見ている方も嫌な気持ちになる。」と考えたようです。また、「キラキラ行動名人・ふわふわ言葉名人になりたい。」「ありがとう」や「ごめんね」を使って友達と仲良くありたい。」と考えていました。まずは相手の気持ちを考えて行動できる人であってほしいと思いました。

公開研究会

10月17日(木)には、多くのご参観ありがとうございました。

当日は、総合的な学習の時間の「神石たんけん新聞社」という内容で、調べた豪雨災害について何をみんなに伝えれば良いのか考えていきました。子供達の様子は、てきぱきと話し合いをスタートさせ、「ピラミッドチャート」を使い自分たちが何を新聞で



伝えたいのか決めることができました。また、

今回この学習を通して、伝えたい理由から子供達の思いを垣間見ることができて、とってもうれしかったです。正直理由は、新聞に載せる材料を決めればあってもなくてもいいかなと思っていました。しかし、子供達からは、「安全だから」「死者が多くなるから」「油断する人が多いから」「人任せにしている、手遅れになってしまう」という理由がたくさんでできました。

子供達は、相手意識を持って伝えようとしているんだと感じました。今から新聞が楽しみです。

さて、その総合で調べたことを発表する学習発表会ですが、今週から練習が始まります。ぜひ、いい劇に仕上げ、満足感と共に終わらせたいと思っています。学校での練習に加えてお家でもぜひセリフ合わせに付き合ってください。よろしくお願いします。

Happy Halloween!

すっかり日本の年中行事のひとつになった、「ハロウィン」です。

習い事でやった!という児童やお家でする児童もいるのでしょうか。

ハロウィンの前の日の10月30日(水)には、学校の外国語の時間でしました。本格的な仮装はできなかったのですが、お面をそれぞれに塗って、かぶってしました。

今まで学習してきたことを使って、いくつかゲームをして、そのあとお決まりの「トリックオアトリート」と言ってお菓子をもらいました。また、ジャック・オ・ランタンを保護者の方が作ってくださり、生ジャック・オ・ランタンに子供達も興味津々でした。



防火学習

11月7日(木)に、防火訓練がありました。突然ベルが鳴り、ハンカチを口元にあて避難しました。

全員が集まるまでに1分30秒でした。後で消防署の方が、「こんなに早く避難できる学校はない。」とほめてくださいました。それと、「逃げる時には、姿勢をできるだけ低くして逃げると新鮮な空気が下のほうにあるからいい。」と教えてくださいました。

そして、水消火器を使って消火器の使い方を練習しました。消火器を使うときは、「ピノキオ」を合言葉に使うといいんだそうです。「ピ」は、消火器のピンを抜く。「ノ」は、ノズルを出す。「キ」は、距離を保つ。「オ」は、ハンドルを押す。ということでした。4年生は、初の消火器訓練でした。代表の3人が出て、大きな声で助けを求めながら、消火器でコーンに向かって水を放射しました。

これから、火を使う機会が多くなります。安全に気を付けてまずは、火事が起こらないように過ごしたいですね。

特別の教科 道徳より④

今日は、「にぎりしめた いね(稲)」という話。

ある日村に役人と「甚兵衛」と名乗る男が来る。その男は、「この田んぼに川を流したい。」と言うのである。初めは何を言っているのか分からなかったが、詳しく話を聞くと、村の東側のほうでは、大雨で川の堤防がたびたび崩れて洪水になり、家や人々が流されて困っているようなのだ。そこで、わたしたちの村の真ん中に川を通して洪水を防ぎたいというのだ。村の人達は、大切な土地を手放すということは命を差し出すのと同じだと反対した。役人は、村の人達の気持ちを分かってくれその計画は中止にしようと思った。それから日にちは過ぎて稲刈りのころ、激しい風と大雨が村をおそった。村の田んぼは無事だったが、東の村は水につかり稲はダメになってしまったのだ。東の村を訪れたわたしは、どろだらけになった稲をしばらく見つめ、ぎゅっと握りしめた。雪が舞う冬の寒い日に役人と甚兵衛は再び村へやって来た。また、追い返そうとする村人にわたしは「もう少し、甚兵衛さんと話をしましょう。」と言うのだった。



この話を読み子供達は、「わたし」は実際に東の村の稲を見ることにより、相手の意見も少しは聞こうと思ったのではないかと、田んぼよりも命が大切だから、甚兵衛の様子を見て話をしようと思ったのではないかと考えました。また、自分の考えと違う意見を言われたら、「話し合う」「実際に見たり行ったりしてみる」と考えました。「自分の考えが正しいから相手の意見は聞かない」という意見もありましたが、相手(学級の友達等)の意見も

聞いて話ができるようにもなれば良いなと思いました。

最高！ 学習発表会

11月17日(日)は、学習発表会に来てくださりありがとうございました。

いろんなところから「よかったね。」「4年生の劇が一番よかったよ。」などと言ってもらい子供達もうれしかったようです。また、自分自身の振り返りの中でとても満足していました。

私自身も手前味噌ですが、4年生の劇が良かったな～と思いました。



また、合唱や鼓隊も練習の成果が出ました。

この学習発表会で身に付けたスキルを別のことでも発揮していけたらいいなと思います。

お家の方のご支援ご協力もありがとうございました。

